

子どもたちに、ゲノム編集作物を栽培させたり給食食材に使用しないで!



生活者ネットワーク 後藤 ゆう子

問 ゲノム編集食品が影響評価や表示義務などの規制がないまま栽培と販売が解禁されている。体への影響が検証されていないゲノム編集食品を給食食材に使用しないことを求めるが見解は。

答 ゲノム編集は新しい技術であるため、人体や環境などへの影響について分からない部分が多いとの情報もある。西東京市学校給食食品購入安全基準では、遺伝子組換えを制限している食材もあることから、同様に遺伝子操作を行うゲノム編集食品についても慎重に判断していく必要があるものとらえている。

問 高血圧に効くGABAの成分を増やした高GABAトマトの苗を、販売会社が2022年から障害児介護福祉施設に、2023年から小学校に無料で苗を配布するそうだ。栽培す

れば最後は食べることになると思うので、無償提供を受けないことを求めるが見解は。

答 現時点でそのような話はいただいていないが、いただいた場合は食品の安全性を十分に勘案した上で適切に判断する。

その他の質問

- ◇労働者協同組合法
- ◇ゼロカーボンシティなど



学校給食

第6波に備えて 新型コロナウイルス 終息への願い



無所属① 小峰 和美

問 「新型コロナウイルス・オミクロン」第6波は大丈夫か。

今春の第4派はアルファ株、今夏の第5波はデルタ株でオリンピックの有無をも問われる感染拡大が起きていた。今は、南アフリカで発見されたオミクロン株が世界を震撼させている。これは感染力が非常に強く第6波が懸念される。新変異株であっても、守るべき対策に変わりはない。今一度個々の人が感染予防の意識を高めるなどと呼応し冷静に対応せよ。また可能な限り経済活動との両立を継続することが大切だ。

答 3回目のワクチン接種を計画的に進め、適切に対応する。

問 長期に渡る新型コロナウイルス感染拡大と、特に第5波の影響で経済が衰退した。市内経済を下支えするための事業者支援策について、改

めて市の考えを問う。

答 市内事業者の状況を把握し、国や東京都の経済対策を注視しながら事業者支援策を検討する。

問 愛知県の中学校で3年生が同級生を刺すという痛ましい事件があった。西東京市で起こらないと言えない。真剣に考えよ。

答 教育委員会も学校と児童・生徒を全力で見守る体制に取り組む。



ワクチン接種の様子

西東京市の魅力を積極的に発信せよ 「子どもがど真ん中」をあらゆる部署で!



無所属④ 田村 ひろゆき

問 市長が考える西東京市の魅力とは。

答 都心へのアクセスがよく、緑が豊かで安らげる住環境が広がり、買物なども便利で、心安らぐ暮らしやすいところ。子どもの笑顔、笑い声が聞こえてくるような子どもがど真ん中のまちを築いていきたい。

問 本市の転出入の状況は。

答 令和元年度で、東京都内間での転出入の増減を多摩地域自治体と比較すると、西東京市は増加数が第1位。近隣の武蔵野市、三鷹市、小平市と過去3年間の総数と比較しても、本市への転入が最も多い。

問 あらゆる部署が、子どもをど真ん中に置いた視点で何ができるのかを問い直すことが必要だ。

答 庁内全部署が次世代を担う子どもや若者に寄り添った政策を考え、

展開し、次の10年、20年、さらにその先を見据えた行政運営を継続していく必要がある。

意見 子どもにやさしいまちと言えれば西東京市と言われるようになってほしい。子育て中の現役世代が増えれば、税金、地域活動の担い手を増やしていくという意味でも、結果的に高齢者を支える存在になっていく。



一般質問の要旨

第4回定例会で26人の議員が行った主な内容についてお知らせします。掲載内容は、各議員が執筆し、その責任のもとに掲載しています。

質問の全文は会議録に掲載します。会議録の公開予定等は10面をご覧ください。

一般質問とは、議員個人が市政全般について市長や教育委員会などに質問することです。

西東京市議会では、答弁時間を含めて1人当たり50分の持ち時間で行っています。



本会議の様子は議会インターネット中継から視聴することができます。QRコードからアクセスしてください。

※公開期間は、定例会分については、次の定例会の初日の録画中継が公開されるまで、臨時会分については、公開の日から3カ月間です。

子ども食堂支援と学校の合理的配慮 子どもに関する施策が一步前進!



生活者ネットワーク かとう 涼子

子ども食堂への継続的な支援を!

問 子ども食堂は市民の手がける「子どもがど真ん中のまちづくり」。行政は市民の取組を応援すべきだ。

答 この間、活動状況の視察と意見交換会を行い、改めて事業の必要性を感じている。支援者に感謝しつつ、継続的な支援を検討したい。

意見 来年度からの予算化を求める。市が市内事業者の窓口となり食材・寄附を受ける仕組みや、保管庫の確保等も検討してほしい。

学校の合理的配慮を進めよう

問 障害のある子が教育を受ける権利を行使できるよう、介助員制度の抜本的見直しと配置時間の拡充、人材確保の取組を求める。

答 来年度から保護者の介助実績を廃止し、必要に応じて配置時間数を追加、施設開放運営協議会など学校

協力者の介助員登録を可能とする。

官製談合させない指名停止基準へ

問 府中市で現職市議と市職員が関わる官製談合事件が起きた。入札に係る不正行為を抑止するため、市の指名停止基準の見直しと不正業者の情報公開を進めるべきだ。

答 市の入札の公正性を対外的に示す姿勢は必要だ。他自治体の例を参考に、情報公開を検討したい。



西東京市の魅力を積極的に発信せよ 「子どもがど真ん中」をあらゆる部署で!



無所属④ 田村 ひろゆき

問 市長が考える西東京市の魅力とは。

答 都心へのアクセスがよく、緑が豊かで安らげる住環境が広がり、買物なども便利で、心安らぐ暮らしやすいところ。子どもの笑顔、笑い声が聞こえてくるような子どもがど真ん中のまちを築いていきたい。

問 本市の転出入の状況は。

答 令和元年度で、東京都内間での転出入の増減を多摩地域自治体と比較すると、西東京市は増加数が第1位。近隣の武蔵野市、三鷹市、小平市と過去3年間の総数と比較しても、本市への転入が最も多い。

問 あらゆる部署が、子どもをど真ん中に置いた視点で何ができるのかを問い直すことが必要だ。

答 庁内全部署が次世代を担う子どもや若者に寄り添った政策を考え、

展開し、次の10年、20年、さらにその先を見据えた行政運営を継続していく必要がある。

意見 子どもにやさしいまちと言えれば西東京市と言われるようになってほしい。子育て中の現役世代が増えれば、税金、地域活動の担い手を増やしていくという意味でも、結果的に高齢者を支える存在になっていく。



市長選挙でのビラ、高裁が違法と判断。ワクチン接種は任意だ。医療を充実させよ。



無所属② 森 てるお

問 市長選挙の異議申立てで判決が出た。どう受け止めたか。

答 司法の判断を尊重する。判決は承知。原告の請求を棄却した。

問 棄却だが、池澤陣営の法定ビラは違法とされた。原告は上訴したが被告は上訴していない。違法の判断は生きている。選管はビラに違法を発見した時どう対応するのか。

答 団体名等が書かれていなければ記載を求める。

問 氏名類推事項が記載されている場合はどうするか。

答 明らかに判断できれば指摘して修正、削除を求める。

意見 実務上は対応するわけだ。

問 コロナ感染者は4,000人余。2年間で人口の2%だ。3回目の接種をどう受け止めているのか。

答 厚労大臣の指示で追加接種に取

り組む。希望者に接種する。

問 2年間の治療の知見がある。ワクチン接種が不可欠なのか。

答 ワクチン接種と合わせて感染拡大を防止したい。

問 接種の別なく感染する。医療行為で解決するべきだ。

答 医療供給は強化されている。

意見 選択に役立つ情報が必要だ。

